

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
統合分野	在宅看護援助論	1	15	2年次	7月	木村浩美
授業概要						
在宅看護概論で学んだ対象の特性、看護が行われる場の特性等を基に、さらに具体的に在宅看護の対象、方法、特徴的な看護について学ぶ。具体的には、訪問に際して必要な知識と技術、多職種との連携・協働に必要な知識と技術、在宅看護におけるリスクマネジメントに関する知識と技術などについて学ぶ。						
科目目標						
在宅看護における対象との関係形成および看護実践の基礎となる知識、技術、態度を学ぶ。						
使用教材						
テキスト：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論，医学書院 参考文献等：国民衛生の動向，医療福祉保健ガイド						
評価						
筆記試験						
授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
4時間・2回	1.対象となる個人とその家族 1) 在宅療養者の特徴 2) 在宅療養成立の条件 3) 家族のヘルスケア機能 4) 家族の健康管理の必要性 2.在宅療養者の権利保障 3.在宅看護介入時期別の看護の特徴					講義
4時間・2回	4.訪問時の看護者の姿勢・態度 5.訪問看護の実際：家族・介護者への援助・支援 6.在宅看護における継続看護					講義
6時間・3回	7.在宅看護における安全性の確保 1) 在宅看護におけるリスクとは 2) 医療事故防止 3) 感染防止 8.療養上の安全確保の実際 1) 転倒予防、窒息予防など 2) 緊急時の対応 など 3) 閉じこもりの予防 4) 独居高齢者の防災 9.在宅療養者と家族の健康危機管理 1) 防災対策の指導 2) 医療機関、福祉機関、行政との健康危機管理と連携 10.災害時の対応 11.訪問看護師の医療行為と特定行為					講義
1時間・1回	筆記試験					
備考						